

植栽環境に適した樹種の選抜に関する研究

【研究概要】

都内の再造林地において、スギ褐色葉枯病と考えられる集団葉枯症の被害が発生した。この病気は立地条件や土壌性質との関連が示唆されており、被害が発生しやすい立地・土壌の把握や樹種転換により被害を防ぐことができる可能性がある。そこで、樹種転換の候補樹種を検討するとともに、被害地の立地条件・土壌性質など被害地の特徴を明らかにし、防除につなげることを目的に試験を実施した。その中で、今年度は下記の成果が得られた。

- (1) スギ生育不適地予測図においてスギ生育不適地と判定されたエリアについて、ヒノキの成長量を調査した。
- (2) スギ褐色葉枯病の被害地をスギ生育不適地予測図に重ね、予測図の整合性を検証した。